



山口大学応用分子生命科学常盤台コロキアム

Tokiwada Colloquium in Yamaguchi University

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキアムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第 38 回 2013 年 3 月 4 日（月）午前 16 時 00 分

D 2 2 講義室

京都大学 大学院 理学研究科 准教授

依光英樹先生

「拡張 Pummerer 型反応を駆使したヘテロ芳香族化合物の合成」

医農薬や機能性有機材料の多くはその母核にヘテロ芳香環をもちます。ヘテロ芳香環の合成法には様々なものがあるが、必要に応じた置換様式のヘテロ芳香環を確実に合成するのはそれほど容易ではありません。講演では、ケテン等価体であるケテンジチオアセタールモノオキシドを利用して、様々なヘテロ芳香族化合物を効率よく合成する手法を紹介されます。具体的には、新形式 Pummerer 型反応の発見に基づく多置換（ベンゾ）チオフェン、（ベンゾ）フラン、ピロールの自在合成ならびにトリフルオロメチル置換ヘテロ芳香環の合成についてお話しいただく予定です。

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）

